

# しまね・ハツ・建設ブランド登録第1弾

# 7件適用工事選定へ

## 実証フィールド候補 計10件に

県土木部技術管理室は、「しまね・ハツ・建設ブランド」登録制度の第1弾として、2日付で7件の技術を選定した(別表参照)。

(多伎町)▽セラクレイ(廃瓦を再利用した歩道用透水・保水性タイル) ㈱アメックス協販(江津市)

▽添え木結束クランプ(植樹用添え木の結束作業のスピードアップ) ㈱旗竿のキャップ松本(掛合町)▽

アスワッド舗装(現場発生木材を活用した歩道用舗装) ㈱山陰ニチレキ(斐川町)▽丁張くん(丁張用)

固定具) ㈱テクノワークス(柿木村)▽クサビ型グラウンドアンカー(支圧型定着方式) ㈱日西テクノブラ

いずれも国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録済みで実績もあり、県では適用可能な工事を選定し、積算に反映させる方針。コスト縮減や環境保全、リサイクル推進などの効果が期待できるとしている。

本年度スタートした建設ブランド登録制度には34件(6月末現在)の応募があり、うち実証フィールド実験による検証が必要な技術は4月選考の3件(5月25日付掲載)を含め10件となった。

新たにフィールド工事の対象に選ばれたのは▽再生砕石RCI-30・40(瓦40% 鉄砕40%、コン10%、As10%) ㈱山建ブランド(株)

現場発生木材を破砕した生チップを基材材の主資材とした植生吹付工法

フラット蓋および縁石一体蓋と側溝本体をピン結合で一体化させたプレキャスト側溝

名称	特性	問い合わせ先
「勤太」 標準貫入試験自動記録装置	標準貫入試験のN値の測定および記録を自動的に行うことができる	南シンク・フジイ
「のび太」 無線式地盤変位測定器を用いた斜面防災システム	危険箇所の地盤変位を伸縮計で観測し、測定データを自動的に無線通信。データ回収にかかわる安全性の確保と省力化を両立し、警報装置の設置もケーブル敷設等が不要なため、低コスト化が図れる	松江市東津田町1349 TEL 0852(23)8454
「無水掘土工法」 ロックアンカー工、ロックボルト工における無水削孔システム	ロックアンカー工、ロックボルト工の削孔を無水で行うため、地山への影響が最小限であり、2次災害防止に役立つ。永久アンカーの定着地盤の地質および地下水状況を把握でき、迅速かつ確実な対策・施工が可能。また、削孔機械の小型化により仮設足場を削減できる	㈱山重組 浜田市長沢町185-1 TEL 0855(22)1824
「植物誘導吹付工」 現場発生木材を破砕した生チップを基材材の主資材とした植生吹付工法	現場で発生した伐採材(根株、幹、枝葉、竹等)を粉砕し、未分解(生チップ)のまま緑化基材材の主資材として、良質粘土を混入し吹き付ける。リサイクル促進とコスト縮減が期待できる	植物誘導研究会県支部 モリタ工業㈱ほか6社 松江市古志原5-15-13 TEL 0852(22)2555
「エコアス」 鹿プラスチック利用アスファルト舗装材	鹿バットボトルをアスファルトと置換した舗装材。従来のアスファルト舗装に比べ、耐流動性に優れる。・[密粒度アスコン(13)のマーシャル安定試験]…鹿プラスチック置換率5%で、ストレートアスファルト使用に比べ約1.1倍の安定度。・[密粒度アスコン(13)のホイールトラック試験]…同条件で耐流動性を2倍以上に向上	山陰建設工業㈱ 出雲市神西沖町2334-3 TEL 0853(43)1113
「ウェーブ」 環境保全型護岸ブロック	護岸ブロックの大型化で生じた空洞部を、中結材によって緑化したり、川辺の生態系を守る生態空間として活用・再生する。自然環境と生態系の保全に有効	㈱イズコン
「かんたん側溝」 フラット蓋および縁石一体蓋と側溝本体をピン結合により一体化させたプレキャスト側溝	フラット蓋および縁石一体蓋と側溝本体をピン結合で一体化させたプレキャスト側溝。蓋板にはフラット型、縁石一体型があり、砂車道高側からの集排水が可能で、蓋板と側溝の分離施工ができ、底床調整コンクリートの施工が容易	出雲市大津町1778-1 TEL 0853(22)2533

建設ブランド登録制度は、公共事業費の大幅削減が避けられない状況の中、民間が開発した技術や工法、製品・材料などを公共工事に積極的に導入し、県内建設関連企業を側面からバックアップする狙い。県が発注するすべての工事を対象に、各発注機関が積極的に採用に努めるとともに、インターネットで全国に向けて情報発信する。

3月の募集開始から、これまで3回の1次選考会を実施したが、6月末時点で、選考待ち案件が15件控えている状態。同技術管理室では「順次、選考会を開催し、業界の要請にこたえたい」としている。

(松江市)▽ステンリット蓋(ステンレス製グレートニング付コンクリート蓋) ㈱イズコン(出雲市)の7件。県では、今回登録技術と合わせた企業側のプレゼンを7日に松江・出雲両合庁で開催。12日には益田合庁でも実施し、登録技術の導入工事とフィールド候補工事の選定を進める。